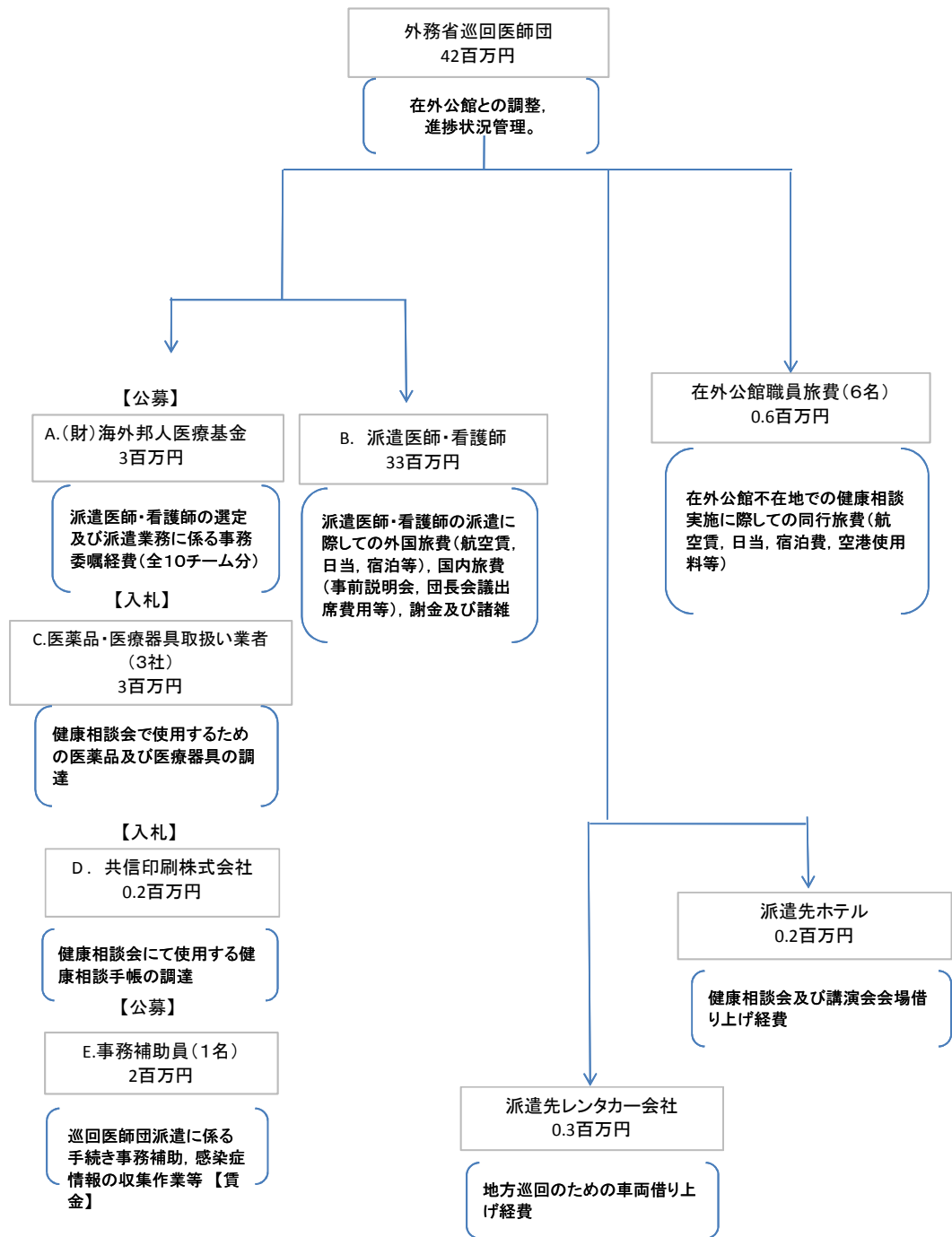


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	在外邦人医療及び福祉対策費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度開始	担当課室	政策課	課長 鈴木 光太郎				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 領事サービスの充実					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第8, 9項	関係する計画, 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、日常生活において健康維持に特別の配慮を要する地域に医師団(※)を派遣し、在留邦人の健康相談を行い、海外で活躍する邦人の福利向上を図ることを目的としている。(※医師団は、大学病院等国内医療機関からの協力を得て、日本人医師・看護師で構成している。)							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療事情の悪い国・地域に在留する邦人を対象に、国内医療機関に所属する医師(看護師)2名または3名からなる医師団を計10チーム(3名体制×4チーム、2名体制×6チーム)派遣し、健康相談会を開催。 医師団は、健康相談会のほか、在留邦人からの希望に応じて講演会を開催し、健康管理等の啓発に努め、相談会実施に支障のない範囲で医療機関の視察や現地医療関係者との意見交換を行うなどして、現地医療事情の情報収集活動も併せて行っている。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	52	52	49	32	32	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	52	52	49	32	32	
	執行額		41	36	42			
	執行率(%)		80.2%	69.1%	86.9%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	健康相談会の参加者数 (達成度:参加者数実績/参加見込み数)		成果実績 上段:実績 下段:見込	人	1,004	850	1,053	
					(1,417)	(1,421)	(1,307)	(1099)
			達成度	%	71%	60%	81%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	健康相談会の実施回数(都市数)		活動実績 (当初見込み)	都市数	39	38	40	—
					(40)	(38)	(41)	(31)
単位当たり コスト	医師団派遣1チームあたり (4, 233千円/チーム)		算出根拠	H22年度 決算総額/10チーム				
平成23 (単位:千円 年度予算内訳)			23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	外国旅費		19,582	18,548				
	諸謝金		6,706	7,195				
	物品購入費等		2,523	2,461				
	人件費		1,927	1,878				
	借料		656	571				
	在外職員旅費		626	552				
	国内旅費		286	299				
計		32,306	31,504					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・毎年度初頭に希望調査を実施、ニーズの高い都市の中から派遣先を決定している。その際、一定数の在留邦人がいる、現地医療事情が厳しい、などが選定基準となっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・事務委嘱については公募を行っており、競争性の確保に努めている。結果として、1者のみの応募となり、随意契約であるが、委嘱先は、本件事業に対する理解及び医師団派遣のための国内各大学との調整を行う知見を十分に有していると評価でき、選定は妥当といえる。 ・物品の購入に当たっては会計課調達室を通して競争入札を行っている。 ・より少ないコストで多くの国を巡回できるよう、巡回ルートを工夫している。また、航空券の手配・購入については、ルート選定・日程変更柔軟に対応できる旅行代理店を通じ、適切な金額での購入に配慮している。 ・医薬品は現地に派遣された医師の判断に基づき、健康相談に参加した 在留邦人 に対して無償で処方している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・年度初めに、全体的な派遣案を作成し、一年をかけて着実に実施されるよう準備している。 ・急激な治安情勢の悪化や広報不足等により、一部派遣中止や参加見込み人数を下回るところがあった。 ・医薬品や消耗品、医療器具等については、前年度の要望を精査して改善している。今後も引き続き管理状況を向上させる。 ・医務官が配置されている在外公館もあるが、同医務官は公館館員の健康管理と現地医療事情の把握を主要任務としていること、任国の医療制度との整合性の問題もあるため、原則、在留邦人への健康相談等は行っていない。 ・(独)労働者健康福祉機構が実施していた海外巡回健康相談事業(年間14チーム、対象者5,000名程度)があったが(昭和59年度から実施)、平成20年度をもって廃止されたため、現在、他の行政機関による類似の事業はない。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・事務委嘱については、公募を行っているが、1者のみからしか応募がなく、随意契約となっている。選定は適切であると評価できるが、次年度以降、少なくとも潜在的に関心を有するであろうと思われるいくつかの団体からヒアリングし、どのような仕様にすれば参加しやすいか、見直しを検討することは有益であると考えている。 ・調達した消耗品の中に、一部専売商品が含まれていたため、今後は一般名で品目を記載して調達手続きを行うようにする。 ・報告書フォーマットの改訂:これまでの医師団からの報告書は一応の報告すべき項目の指定はあるものの、実際に提出された報告書の形式は各々異なり、翌年度以降の参考とすることを念頭に置けば、データを整理するなどの改善点が確認された。今後は、医薬品等の使用実績等を確認するための表を作成したり、改善点等をわかりやすくする記入してもらえよう、医師団の記入の一助ともなるような形で報告書のフォーマットを改訂することで、今後の事業をより効率的に実施するための資料となるよう工夫したい。 ・参加見込み人数を大幅に上回った都市が数カ所あった一方で、参加見込み者数を下回る都市も多かったため、広報文や申込書のフォーマットを予め作成して派遣先公館に送付するなど、広報の方法を工夫したい。 ・医薬品・消耗品については、ほぼ同じ内容のセットを各都市に配布していたが、今後は高齢者の多い地域や小児の多い地域、その他過去の医薬品の使用実績や報告等を考慮しながら、地域事情に応じて調整の上、医薬品を配布したい。 ・医薬品・消耗品費等の残余分については、翌年度以降も使用できるよう、それぞれの使用期限に留意しつつ調達を行っていきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
近年、在留邦人数の増加が顕著なアジア地域等欧米以外の発展途上国では、現地の医療問題は安全問題、子女教育問題と並び生活上の最重要関心事である。これら途上国では、気候や風土、習慣の違いから罹患しやすい疾病が存在し、医療水準の低さや、日本との医療制度の違いに加え言語の壁によって現地人医師との意思疎通が困難である等、在留邦人は日常から、多くの不安を抱えて生活している。このため、現地日本人会などを中心として、日本人医師に日本語で直接相談できる外務省巡回医師団の派遣は極めて期待の高い事業であり、なるべく多くの国・都市を対象に本件事業を推進することは、在留邦人が現地生活を送る際の肉体的・精神的な安定をもたらし、ひいては日系進出企業の現地活動を側面的に支援することにつながる。これは、「海外に於ける邦人の利益の保護・推進」に合致した、重要な事務の一つである。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A. (財)海外邦人医療基金			E. 事務補助員		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	コーディネート費等(人件費2名分)	3	人件費	事務補助員(1名)への謝礼	2
計		3	計		2
B. 派遣医師・看護師			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	派遣医師・看護師24名の渡航費等	29			
謝金	派遣医師・看護師24名への謝礼	4			
計		33	計		0
C. スズケン			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	医薬品・検査用品等購入費	2			
計		2	計		0
D. 共信印刷(株)			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	健康相談手帳作成	0.2			
計		0.2	計		0

支出先上位10者リスト

A.(財)海外邦人医療基金

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)海外邦人医療基金	派遣医師や旅行代理店との連絡調整事務等	3	随意契約	—

B.派遣医師・看護師

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ワールドクリエーション	航空券手配	16	—	—
2	(株)国際旅行社	航空券手配	7	—	—
3	医師・看護師個人(24名)	謝金, 日当, 宿泊費, 諸雑費等	13	—	—

C.医薬品・医療器具取扱い業者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)スズケン	医薬品, 検査用品, 消耗品等販売	2	2, 3, 1	93%, 70%, 86%
2	(株)ムトウ	医療器具等販売	0.7	3	79%, 100%
3	(株)イワナシ	電池販売	0.01	5	66%

D. 印刷製本費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	共信印刷(株)	健康相談手帳作成	0.2	3	100%

E. 事務補助員

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(1名)	資料整理, 物品配送補助等	2	—	—